

堺市長選挙勝利へ、現職の竹山市長を自主的に支持して、勝利のために総力をあげる

8月10日 日本共産党大阪府委員会 委員長 山口勝利

○「維新の会」は9月15日告示の堺市長選挙に、堺市議団幹事長の西林氏を擁立することを決めました。

わが党も加わる「住みよい堺市をつくる会」は、「維新の会」が狙う「大阪都」構想による「堺市つぶし」「堺市のっとり」を許さぬ立場から、現職の竹山修身市長を自主的に支持してたたかうことを声明しています。

日本共産党大阪府委員会は、同じ立場で、堺市長選挙に必ず勝利し、「維新の会」に痛打を与えるために全力をあげる立場を表明するものです。

○「維新の会」の橋下共同代表は、「大裏切り者の竹山市長を倒し」「堺市長選に勝って大阪都構想に弾みをつけ、将来的に関西州へつなげる」などとのべています。

これにたいして広範な堺市民のみなさんが「大阪都ノー」「堺は一つ 堺をなくすな」と声をあげ、政党や立場の違いをこえてたちあがり、毅然と「維新の会」に対決する竹山市長を推す流れをつくりだしています。この流れのなかで、中学校卒業までの医療費助成の実現、国民健康保険料の連続引き下げをはじめ、市民の声にこたえた施策を前進させてきました。

わが党は、「大阪都」構想をはじめ、くらし破壊の攻撃、教育潰し、大阪市職員に対する「思想調査」など、大阪府・市政ですすめる暴走政治を堺市におしつけようとする「維新の会」の企てに断固反対します。この一点で、広く堺市の諸団体、市民の皆さんとの共同の輪に加わり、自主的な立場から、政治論戦でも、組織戦のうえでも、「維新の会」に勝利するために総力をあげます。

○参院選で「維新の会」は、全国的に半年前の総選挙から比例得票を半減させ、手痛い打撃を受けました。橋下市長による「慰安婦」問題での暴言に対するきびしい批判、大阪での暴走政治への反撃が、「維新の会」を追い詰めつつあります。

同時に、大阪では得票を減らしながらも、「100万」を維持したことで、「大阪都」構想の実現や大阪の地方議員の拡大などで巻き返しをはかろうとしています。

堺市長選挙の勝利で、これを許さず、「維新の会」への政治的な終止符をうつことは、大阪の政治の流れ、全国の政治の流れを前に動かす一大転機となります。

わが党はこうした堺市長選挙勝利のために、広く大阪の民主的諸団体、心ある府民のみなさんがともにたちあがることを心からよびかけるものです。

以上